

CASBEE新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	スーパーマルイ 小針店	
建設地	新潟県新潟市西区小針1丁目1139番6	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条地域	
建物用途	物販店,	
竣工年	2024年11月 竣工	
敷地面積	4,830.62 m ²	
建築面積	2,846.54 m ²	
延床面積	2,735.63 m ²	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	竣工段階評価	
評価の実施日	2024年11月30日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.8}{37.6} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	平均スコア 3.2		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 4.0 2.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	平均スコア 2.9		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりの ために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	5.0 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	平均スコア 4.3		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	3.0 5.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	平均スコア 3.5		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	4.0 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

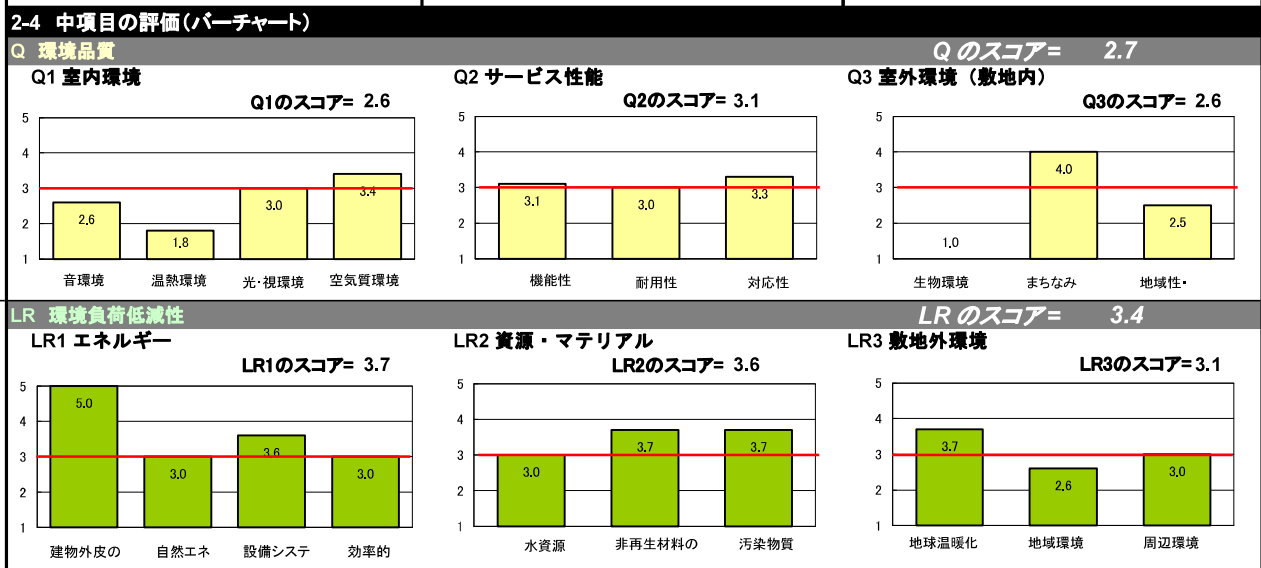
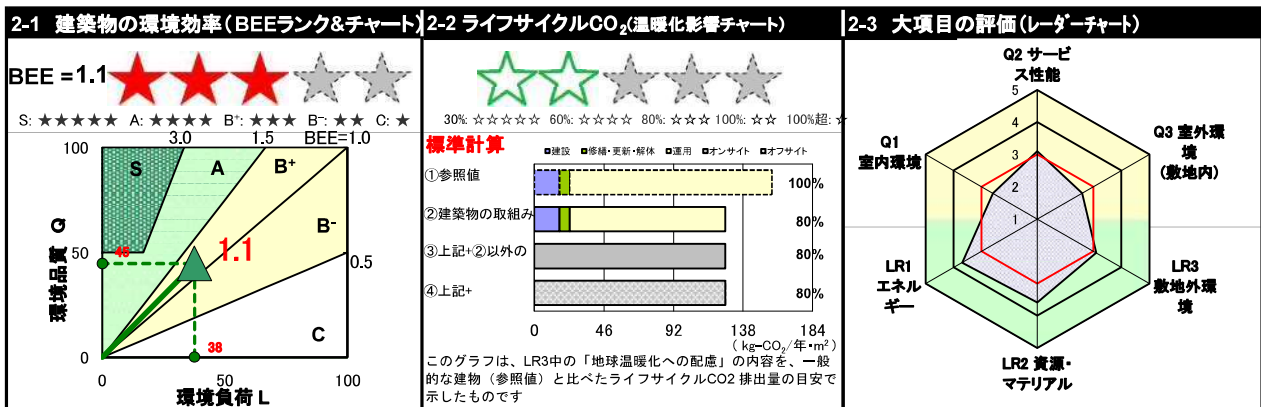
長寿命化の取組み: 建築物移動等円滑化基準を満たし、維持管理に配慮した内外装材を採用。
 地震への取組み: 建築基準法に定められた耐震性を満たすと共に、非常用発電機を屋上に設置。
 大雨への取組み: 開発エリア全体で雨水流出を抑制。
 自然エネルギー利用の取組み: 断熱性能を向上させ、建物外皮の熱負荷を抑制。
 資源循環の取組み: 自動水栓や節水型の衛生器具を採用。各所にリサイクル材を採用。
 水と緑を活かす取組み: 屋外設置の設備機器類は屋上にまとめて設置し、排熱を建物の高い位置から放出。
 新潟のまちらしさへの取組み: 建物正面に屋根底をめぐらせて陰影のある外観と広い屋根下空間を確保。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	スーパーマルイ 小針店	階数	地上2F		
建設地	新潟県新潟市西区小針1丁目1139番6	構造	S造		
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	0 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	4,745 時間/年(想定値)		
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価		
竣工年	2024年11月 竣工	評価の実施日	2024年11月30日		
敷地面積	4,831 m ²	作成者	勝沼幸男		
建築面積	2,847 m ²	確認日	2024年11月30日		
延床面積	2,736 m ²	確認者	勝沼幸男		



3 設計上の配慮事項		
総合 旧小針球場跡地の再開発事業で誘致されたスーパーマーケットの建築計画です。地元自治会等の要望により、屋上を駐車場として一時避難が可能な防災機能を備えた物品販売店舗とし、十分な売場面積を備えて地域に安心・安全・利便性を提供する施設となることを目標としています。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
屋上駐車場用の出入口が2階に必要となる為、階段~1階風除室を介して売場に入るよう計画。売場の出入口を1箇所に集約してドア開閉による空調効率低下しないよう配慮しました。	建築物移動等円滑化基準を満たすとともに、イートインスペースなどのスペースを設置し利用者の利便性向上に努めました。また、内装については維持管理がしやすい材料を採用しました。	屋上を駐車場として十分な駐車台数を確保することにより、周辺道路の渋滞の防止にも配慮しています。1階出入口廻りは広い屋根下空間を確保して都市空間の活動上のアメニティ向上に努めました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮の断熱性能を向上させ、建物外皮の熱負荷を抑制するよう努めました。	省水型の衛生器具を採用、リサイクル材の採用により資源の保護に努めました。	開発エリア全体で雨水流出抑制の実施、駐車場や廃棄物保管場所の確保等により地域インフラの負荷抑制に努めました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される